



IMAGINE
ROTARY

＜本年度クラブ会長方針＞ WEEKLY REPORT No.1604
ロータリーライフを楽しみ、
クラブの持続的成長を図ろう

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 加藤巳千彦 事務局 名古屋市中区栄4-7-10 栄第8ロイヤルビル6F
幹事 吉田憲一 電話(052)251-0181 FAX(052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org

第1879回例会

職業奉仕月間
令和5年1月26日(木)
外部卓話

出席計算数 会員58名
55名中45名出席
出席率 81.82%
前々回出席率 92.81%
45.82%

例会プログラム

- ★米山記念奨学会表彰状の進呈
- ★米山功労者/米山功労クラブ
- ★堀江国際奉仕委員
- ★小学生国際理解教室 活動報告
- ★外部卓話

ロータリーソング

「われらひまわり」(歌唱なし)

ゲスト

ないとうこころのクリニック

院長 内藤 剛大さん

二ホックス

内藤剛大院長、本日の卓話よろしくお願ひします。加藤巳千彦内藤剛大先生卓話楽しみます。よろしくお願ひします。吉田 憲一

加藤会長林優勝させて頂きました。会長、「ご参加の皆様ありがとうございました。ありがとうございました。」川島 勇基

内藤剛大先生卓話楽しみます。よろしくお願ひします。

- 丹下 富博・藤田 澈
- 横井 衛・川畑 博敬
- 酒井 修・鬼頭 茂成

岡村 隆徳・杉本 忠夫
大上 晃延・川合 美幸
内藤剛大院長、卓話よろしくお願ひ致します。松岡 毅

丹下さんありがとうございます。杉本さんありがとうございます。岡部 快雅

会長挨拶

会長 加藤巳千彦



皆さん、こんにちは。先週、不覚にもインフルエンザに感染してしま

まい例会を欠席し申し訳ありませんでした。40度近い発熱があり、還暦を過ぎた私には、かなりの辛い状態でありました。今週から何とか社会生活に復帰いたしました。が、倦怠感が少し残っております。コロナもなかなか収束に至りませんが、インフルエンザも流行しておりますので、日頃の感染予防をしっかりして頂きたいと思っております。それでは、本日のゲスト・リッツアーの紹介をさせていただきます。本日のゲストは、ないとうこころのクリニック 院長の内藤剛大さんです。内藤様には本日13時より卓話をしていただきます。宜しくお願い致します。

さて、本日1月26日は「文化財防火デー」です。この文化財防火デーの制定は昭和24年1月26日に、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺の金堂が炎上し、壁面が焼損したことに基づいております。当時、この事件は国民に強い衝撃を与え、火災など災害による文化財保護の危機を深く憂慮する世論が高まり、昭和25年に文化財保護の統括的法律として文化財保護法が制定されました。その後昭和29年11月3日に法隆寺金堂の修理事業が竣工し、文化財保護行政も確立することも、文化財保護思想の一層の強化徹底を図るために、普及啓発事業が行われるようになりました。その一環として、法隆寺金堂の焼損した日であること、1月2月が1年のうちで最も火災が発生しやすい時期であることから、昭和30年に、当時の文化財保護委員会(現在の文化庁)と国家消防本部(現在の消防庁)が1月26日を「文化財防火デー」と定め、文化財を火災、震災その他の災害から守ることも、全国的に文化財防火運動を展開し、国民一般の文化財愛護に関する意識の高揚を図っています。

昭和30年の第一回文化財防火デー以来、毎年1月26日を中心に、文化庁、消防庁、都道府県・市区町村教育委員会、消防署文化財所有者、地域住民等が連携・協力して

全国で文化財防火運動を展開しています。

昨年の令和4年1月の第68回文化財防火デーでは、瑞龍寺(富山県高岡市)や旧東宮御所(迎賓館赤坂離宮)で大規模な防火訓練が行われたのをはじめ、全国各地の文化財所在地で防災訓練が実施されました。

今日も一日、皆が笑顔で楽しく過ごせますように。ご清聴ありがとうございました。

1月26日「文化財防火デー」

卓話

「心療内科・精神科って

ないとうこころのクリニック

院長 内藤 剛大さん

心療内科・精神科に通院する目的は何でしょうか。こころの病気のためでしょうか。脳の病気のためでしょうか。そもそも精神科はどどういう病気(疾患)を診ているのでしょうか。精神科といえはうつ病、適応障害、発達障害(自閉スペ



クトラム症(ASD)や注意欠如多動症(ADHD)等)、パニック障害、統合失調症、認知症のような疾患を想像される方も多いと思います。心療内科、精神科は「こころの病」、メンタルヘルスというイメージがありますが、これらの病気は「こころの病気」なのではないでしょうか。

では、「こころの病気」とは何でしょうか。「こころ」は臓器でいうとこの問題でいでしょうか。例えば循環器内科であれば心臓の病気、消化器内科であれば消化器の病気、整形外科であれば骨や筋肉の病気、眼科であれば眼の病気といったように対応する臓器がすべて思い浮かぶと思います。そもそも「こころ」とはこの臓器を指すことなのでしょう。

「こころ」は漢字で書くと「心」と「忝」(気持)の問題と「心」と「胸」の問題を指します。ハートの問題だ、といふから心臓のことでしょうか。しかし、心臓は血液を送り出すポンプ機能しかなく、心臓で考ええるのは「心」のみです。頭、つまり脳です。つまり「こころ」は「心」と「脳」のことでしょうか。ですが、脳と「こころ」は脳神経外科とか脳神経内科などは「こころ」の文字を含まず、心療内科、精神科は「こころ」の文字がつかないのではないかと「こころ」の意味もあると思います。心だ、精神だ、結局この臓器を対象にしているのと同じ疑問がでてくると思います。「こころ」の病気と「脳」の病

気は「こころ」違うのか。それを理解するには、まずどのように診断しているかの理解が必要です。

精神科、心療内科では、血液、尿の異常など客観的な数値の異常はありません。精神科の診断には大きく3パターンあります。DSM-5とよばれるAPA(米国精神医学会)が作成したものの、ICD-10と呼ばれるWHO(世界保健機関)が作成したものの、伝統的精神医学とよばれるドイツ精神医学を礎として発展してきた日本の精神医学の伝統を意味しているものがあります。詳しく言うと病因によって内因性、外因性、心因性に分けて考えます。

内因性は、仮説ですがドーパミン、セロトニン、ノルアドレナリン等の脳内伝達物質の異常といわれており、薬物で良くなり、脳の病気であると考えられています。この異常が起これば誰でも発症します。外因性は体の病気(甲状腺の病気、脳出血等)や薬の副作用で起きるものです。そのため、元の病気の治療や薬の中止で改善します。心因性はいわゆる「こころ」の病です。大切な人が亡くなった、事業がうまくいかない、会社がつらい

等原因があります。同じ出来事があったとしても、本人の容量の問題で発症する人もいれば大丈夫な人もいます。



具体例を簡単に説明すると、DSMではうつ病は9つの項目のうち6つ満たせば診断ができることになっていきます。具体的に考えてみましょう。「最近気分が落ち込んで、何もやる気がないし、夜も寝れません、食欲もないし、疲れやすいです」という訴えを、DSMで簡単に考えるとうつ病という診断になります。これを伝統的精神医学で考えてみましょう。

パターン①では詳しくは「会社でも特に仕事量は変わらなけれど、頭がうまく回らません。土日でも疲れて趣味もできません。自分が仕事できないせいで周りに迷惑をかけてしまふ気がして申し訳ないです。」「家族からは「前と全然様子が違います。家でもずっとため息をこいていて、でも会社に行こうとします。心配です。」という訴えがあります。内因性うつ病という診断になり、治療は休養して薬物治療を行うことになります。

パターン②では詳しくは「最近、上司がきつくて人間関係うまくいきません。仕事が多すぎてです。仕事に行こうとすると吐き気がします。仕事中は食欲がないです。休みの日は食欲があります。」「家族からは「最近仕事が増えたみたいで帰りが遅いです。家でも仕事がつらい」とほめています。」「訴えがあります。職場でのストレスが原因となり、診断は適応障害(世間では新型うつ病)



いうことも)になります。この場合治療は薬物ではなく、環境調節が必要になります。

おおまかには伝統的精神医学では病因論によって内因性、外因性、心因性にわけて考えます。今回の例はわかりやすくしていますが、人間なのできつぱり線引きはできません。特に内因性、心因性の判別は難しい例が多いのが実情です。どっちともわからない、間へらい、両方の場合など様々です。世間一般にいわれているうつ病は精神科の立場からいううつ病ではない場合が多いですが、TVやマスコミ、様々な人たちによって、新型うつ病等いろいろな概念が出てくるので、ニーズに合わせて、柔軟に臨機応変に診療しているのが実情です。

冒頭の問ですがクリニックに来る患者さんで、多いのは「こころ」の病気です。うつ病という診断で休職している人も実は...ということはおくあります。このように考えていくと、本来精神医学は統合失調症やうつ病、躁うつ病など脳の病気がメインでしたが、現代では「こころ」の病気が多いのが現状です。一般的にはうつ病は「こころ」の風邪」ともいいますが、簡単にうつ病といっても治療法は様々です。特に休職から復職という流れには

様々な問題があります。診断名が一緒でも様々なパターンがあるといつのが精神科になります。

米山記念薬学大会表彰状の進呈

第1回米山功労者 加藤巳千彦さん 丹下 富博さん

・米山功労クラブ (第40回)



小学生国際理解教室 活動報告

国際奉仕委員長 堀江 英弥

2月9日(木)例会の案内

ロータリー版「私の履歴書」例会

酒井 修さん
木村 光徳さん

*名古屋大須案内人RCの支援金贈呈

公共イメージ向上委員会

木村 光徳・近藤宏一郎
萩原 賢一・藤田 徹

*本文は、原則、頂いた原稿を転載しています。